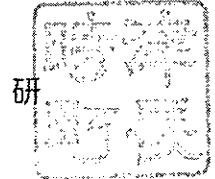


20時都整第 255 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

時津町長 平 瀬



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼がありました標記について、別添のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県時津町

住民の生活道路である町道の整備については、優先的に行ってきたが、今後は、維持管理を計画的に行うことが重要であり、道路ストックの管理に対する財源措置について検討をお願いしたい。

また、地域の実情に応じた道路設計が行えるよう道路構造令の弾力的な運用を図るなど、必要最小限の投資で最大の効果が図られるよう検討をお願いしたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状 本町は、長崎市と県内外を結ぶ重要な交通の要衝であり、長崎県において長崎市と佐世保市を結ぶ西彼杵道路及び長崎南北幹線道路を地域高規格道路として、その整備計画を主要事業として位置づけており、広域的な道路体系において本町の重要性はますます高まっています。

本町の道路体系は、国道206・207号及び町域南部を東西に横断する臨港道路・川平有料道路が幹線道路網の骨格を形成しています。これまでも土地区画整理事業など、市街地整備と一体となった拡幅・改良整備が進んだほか、県営事業による改良工事も進められてきていますが、通行車両がますます増加しており、慢性的に交通渋滞が生じている状況です。さらに平成19年3月に、時津第10工区埋立地にバイパス道路が供用開始されたことで、一定の渋滞緩和が図られたところでありますが、このバイパス及び国道206号沿線には新たに数件の大型店舗の立地が予定されており、さらに通行車両の増加が見込まれています。

長崎県時津町

○課題 沿道型大型店舗の立地予定による通行車両の増加に対応するため、西彼杵道路の長崎市側の早期着工を行い、国道206号に集中する車両を分散し、渋滞の解消を図る必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

長崎県時津町

広域幹線道路網の整備、地域間連絡道路網の整備及び快適で安全な道路環境づくり、を推進することで、地域活性化を図り、日常生活の利便性の向上とともに、高齢者や障害者などいわゆる交通弱者と呼ばれる人たちに対する安全性や快適性に配慮し、だれもが安心して歩ける道路環境の整備を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項

○代表事例

○期待する効果や評価等

長崎県時津町

○その他

・地域活力の向上

広域幹線道路網及び地域間連絡道路網の整備

交通渋滞の解消や地域活性化並びに
住民生活の利便性と安全性の向上が
図られる。

・少子・高齢社会
に対応した子育て
環境、バリア
フリー社会の形
成

歩道のフラット化による段差解消

高齢者や障害者などいわゆる交通弱
者と呼ばれる人たちなど、だれでも安全
で安心して通行できる。

様式 ④